



第26回

関西学生バスケットボール選手権大会

主催 関西学生バスケットボール連盟
後援 朝日新聞社

協賛 (株)アシックス・(株)モルテン

第1日目 平成11年4月25日(土)

	神戸グリーンアリーナ				大阪商業大体育館				大阪体育大体育館					
1回戦	滋賀大	111	64-19 47-34	53	兵庫教育大	阪南大	72	28-26 44-31	57	大阪大				
	大阪学院大	71	36-27 35-32	59	大阪府立大	大阪商業大	95	43-6 52-20	26	桃山大				
2回戦	神戸商科大	117	58-38 59-34	72	大阪国際大	大谷大	96	43-48 53-37	85	龍谷大	大阪市大	163	65-29 98-31	60
	姫路獨協大	93	42-30 51-44	74	奈良大	京都大	87	42-34 45-31	65	京都教育大	仏教大	87	46-11 41-28	39
	関西学院大	101	47-20 54-10	30	奈良産業大	神戸商船大	66	23-31 43-16	47	京都精華大	大阪教育大	98	48-37 50-30	67
	京都工織大	71	30-24 41-36	60	京都外大	神戸大	65	22-18 24-28 19-2	48	和歌山大	大阪産業大	112	68-27 44-38	65
	京都学園大	83	28-33 55-29	62	姫路工大	関西外大	70	34-38 36-29	67	阪南大	大阪体育大	121	67-13 54-26	39
	神戸学院大	116	61-14 55-33	47	滋賀県立大	大商大	94	42-18 52-23	41	追手門大	帝塚山大	82	44-25 38-39	64
	滋賀大	81	35-36 46-24	60	神戸外大						府立工専	74	29-15 45-23	38
	関西大	70	40-34 30-34	68	大阪経法大						大阪工大	105	60-24 45-33	57
	大阪学院大	79	27-37 52-32	69	甲南大									

第2日目 平成11年4月29日(祝) 3回戦 太陽ヶ丘体育館

神戸商科大	76	43-37 33-35	72	神戸大	大阪産業大	79	26-29 53-26	55	帝塚山大
佛教大	73	32-29 41-23	52	京都学園大	関西学院大	119	57-8 62-8	16	神戸商船大
大阪商業大	65	30-16 35-32	48	関西大	大阪教育大	67	22-34 45-25	59	関西外大
流通科学大	110	53-13 57-15	28	府立工専	滋賀大	75	44-22 31-24	46	大阪工大
摂南大	138	57-15 81-24	39	大阪電通大	近畿大	116	63-19 53-25	44	姫路獨協大
大阪学院大	72	40-26 32-19	45	神戸学院大	立命館大	66	39-30 27-25	55	大阪体育大
京都産業大	141	76-36 65-28	64	大谷大	同志社大	125	58-19 67-14	33	京都工織大
		31-26					35-21		

天理大	59	28-19	45	大阪市大	大阪経済大	78	42-30	51	京都大
-----	----	-------	----	------	-------	----	-------	----	-----

第3日目 平成11年5月2日(日) 東淀川体育館

Aコート				Bコート					
同志社大	100	41-31 59-29	60	大阪教育大	近畿大	79	37-21 42-28	49	大阪産業大
大阪経済大	76	32-29 44-42	71	関西学院大	立命館大	97	54-25 43-26	51	滋賀大
京都産業大	102	50-30 52-40	70	神戸商科大	大阪商業大	83	41-36 42-9	45	摂南大
天理大	78	39-12 39-16	28	佛教大	流通科学大	68	39-28 29-29	57	大阪学院大

第4日目 平成11年5月3日(祝) 東淀川体育館 準々決勝

同志社大	65	33 - 32	63	近畿大
		32 - 31		

【戦評】スタートは近大#4・#6・#7・#12・#14、同志社#4・#5・#6・#8・#18、

両チームともハーフコートからのマンツーマンディフェンス。

試合開始時は、同志社も動きが固くシュートが入らなかった。残分15、近大10-5同志社。近大は#25・金がコートに入り、高さで近大が有利になるが、同志社もハイポストの#5・前川を上手く使い3Pなどで、残分8で近27-25同と、追いつく。近大はシュートを外してもオフェンスリバウンドをもぎ取りシュート数では同志社を上回っているが、決定力がなく同志社を突き放せない。かわって同志社はハイポストの#5・前川にボールを入れることによって、外のプレーヤーをノーマークにし、そのプレーヤーにシュートをさせ、得点を重ねている。

前半終了、近大32-33同志社。

後半のスタートは近大#4・#6・#7・#12・#14、同志社#4・#5・#6・#8・#18。

ディフェンスは両チーム共前半と同じマンツーマン。近大はファールがかさんでいる。残分10、近48-46同。近大のオフェンスは1対1から始まるが、同志社はノーマークを作りイーージーなシュートを狙っている。

残分5、近51-57同。同志社#8・玖田の3Pで近大をつき離す。近大は#4・小原の3Pなどで追いつく。残り20秒で同志社が2点リード。結局同志社はその2点を、守り切って試合終了。

大阪経済大	72	37 - 37	69	立命館大
		35 - 32		

【戦評】立命館#4・#5・#6・#9・#17、大経大#4・#8・#9・#11・#12。

ディフェンスは両チームともマンツーマン。立命館は#5・矢野の1対1を中心に、大経大はパスをとばして、フリーの選手がシュートを打つ。前半11分大経大はオフェンスリバウンドからのセカンドチャンスを活かして得点をしている。残分10で、立命館7ファール。残分7で大経大はターンオーバーが目立つようになり、1回目のタイムアウト。立命館#5・矢野のシュート確率が悪くなり、大経大のターンオーバーが多いわりに差があげられない。

大経大は、立命館のファールの多さに助けられて、フリースローで得点を稼いでいる。前半終了、立37 - 37経。

後半、立命館#4・#5・#6・#9・#17、大経大#4・#8・#9・#11・#12。

後半の立ち上がり、立命館はオフェンスのミスが多く、逆に速攻で得点される場面が多い。残り11分、確実に速攻を決めた大経大が53-46と7点差をつけてリード。立命館は1対1でカットインからのパスミス、シュートミスで

得点ができない。残分6、大経大7ファール。一時10点差まで開くが、立命#5・矢野のシュートが立て続けに決まり、2点差まで縮まる。大経大は、ディフェンスリバウンドを確実にとり、4点差のまま残り20秒。立命#5・矢野の3Pで2点差になるが、経大#12・山岡のフリースローで3点差となり、そのままゲーム終了。

大阪商業大	62	36 - 28	58	京都産業大
		26 - 30		

【戦評】スタートは京産大#4・#5・#9・#10・#15、大商大#4・#6・#9・#10・#15。

両チームともに、速攻でシュートまでもっていくが、シュートが決まらずペースをつかめない。京産大#5・菅のシュート、商大#6・中島のシュートで両者とも一歩も譲らずゲームを進める。残分9、京16-16商。

商大#6・中島の3Pでリズムをつかみかけるが、京産大#15・中谷、#5・菅が速攻を決めかえず。残分3で、28-28と同点でこのまま行くかみえたが、商大#4・喜多のスティールからの速攻で立て続けに得点、#21・田中幹、#10・田中久も決め、36-28、商大リードで後半を迎える。

後半スタートは同じ、京産大#5・菅の連続得点で一気に追いつこうとするも商大は、#6・中島のシュートで応戦。両者ともに譲らず。ゲームが動いたのは残分8京産大がオフェンスファールを3連続でし、商大#5・上田、#13・東浦

が共にシュートを決め55-48と商大リード。残分3、負け時と京産大#5・菅が3Pを決めるが、後が続かない。商大#13・東浦がリバウンドに、シュートに奮闘。京産大はファールゲームにもっていかうとするが、商大#4・喜多のスティールでダブルファールおさげせない。そのまま、商大が逃げ切り

するが、岡入#4 喜多の9はらいドリブルでファール9とせない。そのまゝ、岡入が逃げ切り62-58で終了。

天理大	63	33 - 22	45	流通科学大
		30 - 23		

【戦評】スタートは天理大#4・#6・#8・#11・#19、流科大#6・#13・#19・#20・#22。開始後は天理大#6・井上、#11・西村が3Pを2人で5連続決め、勢いに乗る。流科大は、#6・菅野のフリースローと2Pで食らいつく。残分11で天理15-11流科大。その後も天理の3Pは止まらず、8連続もしずめる。その後はゲームは落ち着き、両チームともに得点が止まる。残分1から天理大#6・西村の本日4本目の3P、#7・山口3Pを決め点差を広げ、33-22で前半終了。後半開始後も、3Pの勢いは止まらずに流れは天理に傾く。流科大も#20・黒田のゴール下、6・菅野のシュートで必死についていこうとする。残分13で、流科大ディフェンスをゾーンからマンツーマンに変えて流れを変えようとするが、変わって出てくる天理大のメンバーも、リズムよくシュートが打てて、得点を重ねていき、流科大はリズムにすることができない。結局そのまま、天理大が逃げ切り63-45で天理大勝利。

第5日目 平成11年5月4日(祝) 東淀川体育館

5～8位決定戦

近畿大	73	32 - 32	72	流通科学大
		41 - 40		

【戦評】スタートは近大#4・#6・#7・#12・#14、流通大#6・#13・#14・#19・#22。序盤、近大は#7比嘉、流通は#22植田#13大瀬戸を中心に両者互角の試合を展開する。近大は#25金を投入し、流れを引き込もうとするが、そこは流通が執拗にマークし、得点を許さない。両チームともにリズムをつかみきれないままに、前半が終了。32-32と同点で後半巻き返しをはかる。後半両チームともに速い展開で攻め立てるもののシュートが決まらず引き離すことができない。流通#13大瀬戸、#22植田らの速攻で5点差に離すが、近大#14今田の3P、#4小原のシュートで再び同点に。近大#25金が、テクニカルをされて、仕返しとばかりに連続ゴールするも、流通#22植田らが再び盛り返す。近大も#14今田の3Pで応戦、再び同点とすると、1分きってから流通#22植田のフリースローで72-71とするが、ラスト4秒、近大#14今田がファールをもらいフリースロー2本をきっちり決めて73-72とし、そのまま試合終了。

5～8位決定戦

京都産業大	106	45 - 51	88	立命館大
		61 - 37		

【戦評】スタート立命#4・#5・#6・#7・#15、京産#4・#5・#6・#7・#15。立命館は最初3回のオフェンスを#5矢野の2本の3Pと、フリースロー2本で始めるが京産大も#5菅のシュートやファールを誘ってのフリースローなどで得点を重ねる。残分13、立命#4味呑のカウントダウンオーバーが決まり1点差まで追いつく、京産大も確実に2Pを決め逆転を許さない。残分9、立命館のターンオーバーが目立つようになり、速攻を止めるためにファールがかさんでいる。立命22-29京産。残分5、京産大7ファール。立命館の1対1に対してファールが多い。立命館#5矢野の3P、インサイドのプレイヤーのシュートがバランスよく決まりだして42-39と逆転する。京産大は2つ続けてターンオーバーし、得点され51-41とリードされる。前半終了、立命51-45京産。後半は、出だし2分で京産大#4竹村の3P3本と#5菅のジャンプシュートで一気に53-58と逆転する。立命館は京産大のすばやいパス回しから1対1のディフェンスがついていけない。残分11、京産大のオフェンスを止めることが出来ず60-78と点差を開かれる。残り7分、立命#5夜の3連続3Pなどで20点差から7点差までつめよる。立命館は、#5矢野の3Pで健闘するが攻守にバランスをとりもどした京産大が106-88立命館と勝利をおさめた。

準決勝

天理大	56	23 - 27	50	大阪経済大
		33 - 23		

【戦評】スタートは天理大学#4・#6・#8・#11・#19、大阪経済大学#4・#8・#9・#11・#12。両チーム共、マンツーマンディフェンス。残分15、天理4 大経 大経大はターンオーバーが目立ち、ディフェンスリバウンドも取れていないが、天理大のシュート確率が悪いいため差が開かない。残分5、天理大15-22大経大。両チーム共ディフェンスを頑張っているためフィールドゴールの確率が悪いが、天理大が7ファールになり、大経大のフリースローが多くなってくると、点差が開き始めた。天理大は、前半終了間近に#7山口 #4木村の3Pが連続で決まり、いい感じで前半を終えた。天理大23 27大経大。後半開始時は両チーム共目立ったプレーはなく淡々と攻めている。残分10、天理大36-38大経大。天理大はオールコートでボールにプレッシャーをかける激しいディフェンス。大経大のターンオーバーが目立ちはじめ、残分7で天理大が逆転した。天理大47-44大経大。残分3、天理大#20吉本#11西村の3Pが連続で決まった。しかし、大経大もすぐに入れ返し、点差が開かない。残分52秒 天理大52-50大経大 2点リードで天理大タイムアウト、タイムアウト後天理大がアンスポーツマンファールをもらい、一気に6点差、この点差を守り抜き、天理大が勝利した。

準決勝

大阪商業大	81	42 - 22	60	同志社大
-------	----	---------	----	------

【戦評】スタートは、商大#4・#6・#9・#10・#15 同志社 #4・#5・#6・#8・#18、商大#4 喜多からの多彩な攻撃で、#15垣岡らがシュートを決め一気に点差をひろげるが、同志社も#5前川のシュートで、攻めかえす。商大18-10同志社。残分10 そこから 残分5まで互いに点のとりあいであいがちぢまらない。ラスト5分から、商大#9越智のシュートがさくれつし点差をひろげ42-22で前半終了 商大リードで後半をむかえる。後半 同志社大 早く点差をちぢめたいところだが、商大のディフェンスを崩すのは困難である。同志社#8玖田の3Pなどでリズムにのりかけるものの、すかさず商大#4喜多が3Pをおかえしする。徐々に商大のリズムが狂ってきて、シュートがリングに嫌われ 同志社#6岩下 #18奥田のシュートで61-51とつめよる。残分7,10点差まで詰め寄ったが その後が続かない。逆に商大はメンバーをかえて自由にプレーすると 良い勢いを引継ぎ 得点を重ね結局81-60で商大の勝利。

第6日目 平成11年5月5日(祝) 東淀川体育館

7位決定戦 10:00

流通科学大	72	36 - 33	57	立命館大
		36 - 24		

【戦評】

スタートは流通大 #6・#13・#14・#19・#22 立命館 #4・#5・#6・#9・#17。序盤 立命 #17諏訪のシュートで、得点を重ねていき、一方、流通大は#20黒田らのシュートでついていくが、ディフェンスが上手くいかずファールがかさみ残分4で7ファールとなり苦しい展開となる。しかし、#6菅野の3ポイントなどで立命に傾きかけていた流れを流通に引き込み、逆転に成功し、そのまま前半を終える。流通大36-33 立命館。後半に入ると立命館の#5矢野がガードぶりを発揮し、#9青木#4味香のシュートを引き出し、すぐに逆転するが流通大#4菅野もやり返し、同点とした。次第に立命館はターンオーバーが目立ち、流通大#22植田の速攻などで60-52となる。なお流通大が少し離すと立命館#5矢野が3Pねらい追いつこうとするが、シュートが決まらずラストはファールゲームにもっていくものの、追いつけずに72-57流通大が勝利をおさめる。

5位決定戦 11:45

京都産業大	82	49 - 33	69	近畿大
		33 - 36		

【戦評】スタートは近畿大 #4・#6・#10・#12・#14 京産大 #4・#5・#6・#7・#15。両チーム共マンツーマンディフェンス。残分15近大6-13京産大、近畿大学はオールコートでボールにプレッシャーをかけているが、京産大の速いパス回しについていくことが出来ず得点を許している。残分10近大10-26京産大、近大は#4小原がディフェンスリバウンドをしっかりとっているが、ターンオーバーが多いため得点に結びつかない。一方京産大は、#4竹村#5菅を中心に淡々と得点している。そのペースのまま前半終了。近畿大学33-49京都産業大学。後半開始時は京産大ペースだったが残分15くらいから京産大にターンオーバーが目立ちはじめ、徐々に近大が追いつきはじめた。残分10近大52-63京産大 両チーム共、取られたら取り返す展開で、なかなか点差が変わらない。残分5を切っても 近大63-73京産大の10点差。残り2分を切り、京産大は#4竹村 #5菅のシュートで近畿大を引き離す。そのまま京産大がその点差を守り抜き勝利した。近畿大学69-82京都産業大学。

3位決定戦 13:30

同志社大	69	45 - 25	51	大阪経済大
		24 - 26		

【戦評】スタートは同志社 #4・#5・#6・#8・#18 大阪経済大学 #4・#8・#9・#11・#12。最初から流れは同志社のほうにある。スタメン全員が得点にからみディフェンスもかたい。それに引き換え経大は単調な攻めでシュートの確率も悪い。ディフェンスの方も後手後手でファールがかさんだ。いまいちのりきれない経大をしりめに得点をかさねる同志社45-25と20点差リードで後半を迎える。経大#9宮下が、後半開始から一人でリバウンドボールを運びシュートとオールラウンドなプレーで得点していき52-39までつめよる。だが、同志社も#5前川を中心に無理なプレーはせず得点を重ねていき終わってみれば69-51で同志社の大勝で幕をとじた。

優勝戦 15:15

天理大	53	28 - 32	50	大阪商業大
		25 - 18		

【戦評】天理は#4・#6・#11・#12・#19商大#4・#6・#10・#15でスタート。開始早々天理#11西村のシュートが決まり会場は盛り上がったが、#19枝折の連続ファール。商大#6中島#9越智の連続ポイントで商大優位にゲームが進む。ディフェンスは

両チーム共にマンツーマンだが天理は商大#4喜多に対しフェイスガードを見せる。商大のセンター陣と天理の外角との点の取り合いで好ゲームが展開されるなか、天理のファールが重なりフリースローをしっかりと沈めた商大がリードで前半終了(32-28)
 後半、天理はゾーンデフェンスに変え流れを変える。商大はターンオーバー・ミスショットを続け得点できない。天理は、得意のデレドオフェンスで連続15点と商大を引き離しにかかる。商大はペースをつかめず#4喜多を下げたが天理の猛攻を止められない。この間10分間商大は得点をあげられなかった。しかし残分4から商大#4喜多・#5上田・#6中島・#13東浦の連続ポイントで息を吹き返す(50-46)。商大最後の追撃は#6中島のフリースロー。2本沈め2点差とするが#5上田のシュートが惜しくも外れ同点に出来ず、その後、ファールゲームで逆転を狙うが功を奏せず天理が逃げ切る。53-50天理の初栄冠。

【最終結果】

優勝	天理大(初優勝)
準優勝	大阪商業大
3位	同志社大学
4位	大阪経済大学
5位	京都産業大学
6位	近畿大学
7位	流通科学大
8位	立命館大

個人賞

最優秀選手賞	木村光晴	天理大4年 #4	
敢闘賞	喜多誠	大商大4年 #4	
優秀選手賞	井上篤史	天理大4年 #4	
〃	西村大祐	天理大3年 #11	
〃	吉田寛史	大経大4年 #4	
〃	前川勇志	同志社4年 #5	
〃	中島英文	大商大3年 #6	
新人賞	枝折康孝	天理大1年 #19	
得点王	菅裕一	京産大4年 #5	93点
リバウンド王	山岡豊	大経大2年 #12	9-17-26 (O-D-T)
アシスト王	前川勇志	同志社4年 #5	12
フリースロー王	岩下洋平	同志社4年 #6	10/12 83%

個人ランキング

【得点王】

菅裕一(京産大4年 #5)	93点
矢野真伸(立命大4年 #5)	83
小原伸治(近畿大4年 #4)	68
竹村友和(京産大4年 #4)	58
菅野伸彦(流科大4年 #6)	50
中島英文(大商大3年 #6)	48
宮下健二(大経大3年 #9)	45
山岡豊(大経大2年 #12)	44
岩下洋平(同志社4年 #6)	43
馬場洋成(近畿大3年 #12)	41

【3P王】

矢野真伸(立命大4年 #5)	15本
井上篤史(天理大4年 #6)	9
竹村友和(京産大4年 #4)	7
西村大祐(天理大3年 #11)	7
奥田秀樹(同志社1年 #18)	7
山口正基(天理大4年 #7)	7
菅裕一(京産大4年 #5)	6
今田太裕(近畿大3年 #14)	6

小原	伸治	(近畿大4年 #4)	5
玖田	将夫	(同志社3年 #8)	5
斉藤	強	(大経大3年 #8)	5
長沢	論史	(同志社4年 #4)	5

【リバウンド王】

山岡	豊	(大経大2年 #12)	O- D- T
吉田	寛史	(大経大4年 #4)	9-17-26
住吉	智司	(流科大2年 #19)	8-15-23
馬場	洋成	(近畿大3年 #12)	5-17-22
前川	勇志	(同志社4年 #5)	4-16-20
高木	康博	(立命大4年 #6)	10-10-20
中島	英文	(大商大3年 #6)	7-13-20
小原	伸治	(近畿大4年 #4)	6-13-19
宮下	健二	(大経大3年 #9)	4-13-17
金基	烈	(近畿大1年 #25)	8- 8-16
梁地	隆直	(京産大4年 #6)	3-13-16
			5-11-16

【アシスト王】

前川	勇志	(同志社4年 #5)	12
菅裕	一	(京産大4年 #5)	10
喜多	誠	(大商大4年 #4)	10
竹村	友和	(京産大4年 #4)	9
梁地	隆直	(京産大4年 #6)	8
西村	大祐	(天理大3年 #11)	8
大瀬	朋久	(流科大3年 #13)	6
木村	光晴	(天理大4年 #4)	6
矢野	真伸	(立命大4年 #5)	5
井上	篤史	(天理大4年 #6)	5
河澄	義仁	(流科大2年 #18)	5
比嘉	光久	(近畿大4年 #7)	5

【フリースロー王】(10本以上)

岩下	洋平	(同志社4年 #6)	10/12 83%
矢野	真伸	(立命大4年 #5)	10/13 77%
菅野	伸彦	(流科大4年 #6)	8/11 73%
玖田	将夫	(同志社3年 #8)	9/14 64%
小原	伸治	(近畿大4年 #4)	11/18 61%
菅裕	一	(京産大4年 #5)	9/15 60%
山岡	豊	(大経大2年 #12)	8/14 57%
斉藤	強	(大経大3年 #8)	8/14 57%